

守りたい 大切な自分 大切な誰か

～忘れないで!ネットには危険がいっぱい!～

SNSを通じて多くの子供たちが性被害等にあっています。ここで2つの事例を紹介します。

事件 1

SNSで仲良くなった女友達と、写真のやりとりをしていたら…

1 SNSで、同年代の女の子Bさんと友達になったAさん

Aちゃんてホントかわいい〜モデルみたい!

やめてー! Bちゃんの方が全然美人だし!

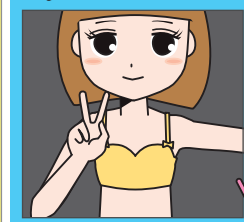
また写真送るからAちゃんも送ってね!



2 ある日、Bさんの下着姿の写真が送られてきて…

この下着かわいいでしょ! Aちゃんの下着も見せてー

恥ずかしいけど大丈夫だからね… 私もちゃあ! 送信



3 実は相手はおじさんで、送った写真をもとに脅迫される事態になってしまった!



次は全裸の写真を送れ!と下着姿をバラまくぞ

早くよこせ! 5分以内に送らないと写真をネットに拡散する



SNS上では、相手が同性だと思って安心していても、あなたをだますための嘘の情報かもしれません。「同性同士だったから」「優しくったから」等と思って、裸や裸に近い画像等は絶対に送ってはいけません。このような事例では、男の子も被害に遭っています。一度ネット上に流出した画像を全て削除・回収することはできません。また、このような画像を送らせたり、他の人に転送することは犯罪です。

事件 2

SNSに「家出したい」と書き込んだら、優しい人が声をかけてきて…

1 自宅にいたくなくて「家出したい」とSNSに書き込んだら…



マジ親むかつく家出したい!

誰か家に泊めてー

え、大丈夫? 心配だから声をかけた

2 親切そうな人が声をかけてくれた



家出とか危ないよ! 変な人いっぱいいるんだから…

行くところないならうちにくる? ウチは彼女も一緒に住んでるから安心だよ

ホントに??

うん、おいで何でも相談のから

3 遊びにいった家で複数の男性達に監禁され、性被害にあった!



犯罪者は優しい言葉をかけてきたり、困りごとを助けるふりをして子供に近づき、徐々に子供の信頼を得た上で会う約束をして犯行に及ぶという事案が発生しています。たとえ相手が優しい言葉等を使って近づいてきても、SNS等で知り合った人と安易に会うことは危険です。困ったときには、家族や学校の先生に相談したり、公共の相談窓口等に連絡しましょう。